

# 市民の利便性向上のために 新庁舎建設工事がいよいよスタート!



市民の皆様への利便性向上、行政コストの削減等を図るため、平成23年度から進めております統合庁舎建設事業につきましては、これまで広報紙やホームページ等を通して、建設の必要性や基本設計の概要などをお知らせしてきました。平成25年8月末に実施設計が完了し、12月から本格的に工事がスタートしましたので、建物の概要についてお知らせいたします。

## 【施設の概要】

建築面積 4,856.92㎡  
 延床面積 13,127.6㎡  
 規模 地下1階、地上3階  
 高さ 16.7m

## 【施設の主な特徴】

外観については、曲線的なデザインを施し、圧迫感のない親しみやすい庁舎としています。

また、地下駐車場の空間を有効活用した免震構造（建物の揺れを低減する装置）を採用することで、建物の変形や移動をおさえて、その耐久性を確保しています。

自然換気や太陽光、雨水、井水等の自然エネルギーの活用、屋上緑化や壁面ルーバーによる熱負荷の軽減により省エネルギー化を図る計画です。

## 【平面計画】

新庁舎へは、市民の皆様への利便性が高い部署を中心に配置するとともに、地下には駐車場を整備し、南北の出入口にエレベーターを設けて、利便性の向



【南側エントランス イメージ図】

上を図ります。

主に1階には市民課や税関連部署、2階には健康支援課や保育課など子育て関連部署を配置するとともに、市民スペースやキッズスペースを設けます。3階には企画部門を配置し、庁議室や大講堂を整備します。

基本理念である「人と環境にやさしい、シンプルで機能的な庁舎」の建設を目指し、今後のうるま市のまちづくりの拠点となるよう整備いたします。

## 統合庁舎建設工事の安全を祈願

建設地となる本庁舎（具志川）横の広場において、11月25日に、安全祈願祭・起工式が行われました。

式には、島袋市長をはじめ、市関係者や市議会議員、うるま市庁舎建設工事施工協力会など、100名余りの関係者が出席し、庁舎建設工事の安全と無事を祈願しました。

島袋市長は「この庁舎が完成した際にはワンストップサービス窓口の導入と併せて業務の効率化も図ることから、市民サービスの更なる向上につながる」と期待しました。



【安全祈願祭の様子】